

令和元年度スポーツツーリズム推進事業 (自転車活用まちづくり事業)

概要

令和2年9月
山形県寒河江市

自転車を活用したまちづくりの推進

さがえ
未来
創成

<寒河江市のまちづくり>

- ・ 稼ぐまちづくり及び人が集うまちづくりの観点から・・・ **新たな視点でのまちづくりを推進**
- ・ **スポーツ振興などの他の政策分野と連携したイベントの実施**などを通じて、訪日外国人を含む **観光客数及び宿泊者数の増加**並びに **各種イベントの域外参加率向上**を図る

<自転車活用まちづくり協議会（事務局：寒河江市企画創成課）>

<平成28年度>

- ・ 自転車イベント（**ストライダーエンジョイカップ**さくらんぼステージ）
- ・ サイクリングコース設定（寒河江市～上山市）

<平成29年度>

- ・ 自転車イベント（ストライダー+シクロクロス+BMX（+ツールド））
- ・ 自転車拠点整備（**シャワールーム等整備（グリバーさがえ）**）
- ・ 自転車コミュニティ形成（**オーナーズミーティング/ストライダー整備**）



<平成30年度>

- ・ 自転車イベント（**ストライダー夏秋2回開催**+シクロクロス（+ツールド））
- ・ 自転車拠点整備（**シャワールーム等運用開始（グリバーさがえ）**）
- ・ 自転車競技普及活動（**市内幼稚園等でのストライダー体験会実施**）
- ・ **寒河江市自転車活用推進計画策定**（H31.3）



自転車を核とした持続的なまちづくり

自転車を活用したまちづくり⇒スポーツツーリズム推進

さがえ
未来
創成

<平成28～30年度>自転車を核とした持続的なまちづくりに一定の成果

成果と課題:

- ★自転車を活用したイベント⇒交流人口拡大の可能性を確認、ノウハウ蓄積
- ★参加者数は多いが、宿泊者数増に結び付きにくい
 - ⇒近隣参加者+域外参加率向上の取り組み必要
 - ⇒自転車+各種スポーツとの連携必要

<令和元年度～> スポーツツーリズム推進によるまちづくり

- ・自転車イベント⇒内容見直し継続、連携による発展
(ツールド:ターゲット層追加による参加者数増、ストライダー:初夏⇒秋に季節変更など)
- ・既存インフラ等を活かしたイベント展開
 - ⇒グリバーさがえ(多目的水面広場)、ふるさと総合公園、道の駅チェリーランド、最上川、寒河江川、葉山
 - ⇒多様なスポーツを観光にドッキング(さくらんぼマラソン、トライアスロン等)
- ・オリパラ関連事業(スケードボード:韓国とホストタウン協定)と連携、ポスト2020
- ・障がい者にやさしいまちづくり⇒パラスポーツイベントの開催等

地域資源を活用したスポーツ振興



観光振興

稼ぐまちづくり・人が集うまちづくり

ツールド・さくらんぼ



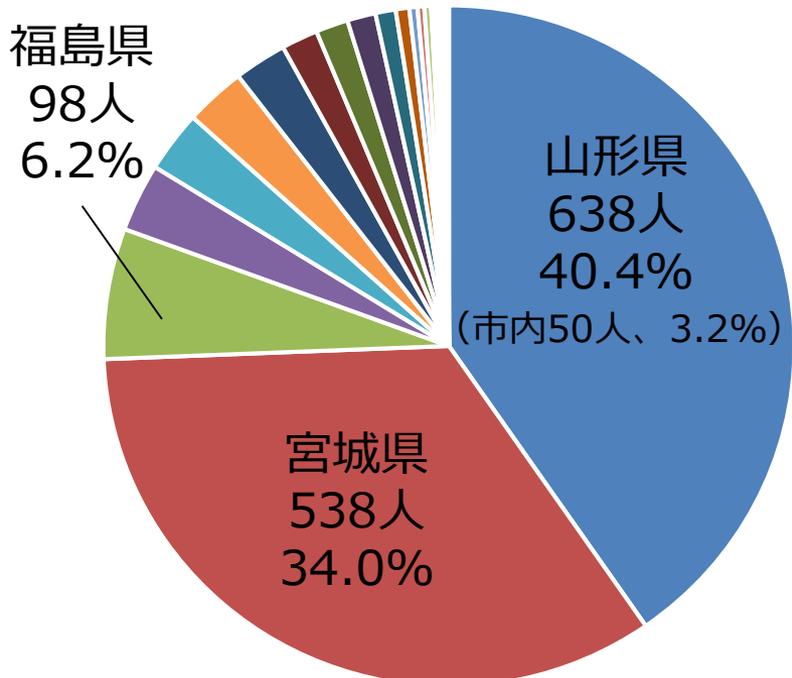
<第7回ツールド・さくらんぼ>

- 2013年に初開催し、初回の500人から規模拡大を続け、
本年は**参加者1,580人となったサイクリングイベント**
- 青年会議所（JC）を主力とする実行委員会**
- 西村山1市4町の観光地**などを巡るコース設定
- イベント参加者のうち**299人が市内宿泊。**



<ツールド・さくらんぼエントリー（住所）>

県外比率：59.6% 市外比率：96.8%



東京都	51人
岩手県	46人
新潟県	45人
秋田県	39人
埼玉県	27人
神奈川県	24人
千葉県	21人
栃木県	15人
群馬県	10人
茨城県	6人
青森県	5人
大阪府	5人
北海道	3人
沖縄県	2人
愛知県	2人
山梨県	2人
静岡県	1人
石川県	1人
兵庫県	1人



“さがえ”さくらんぼマラソン大会



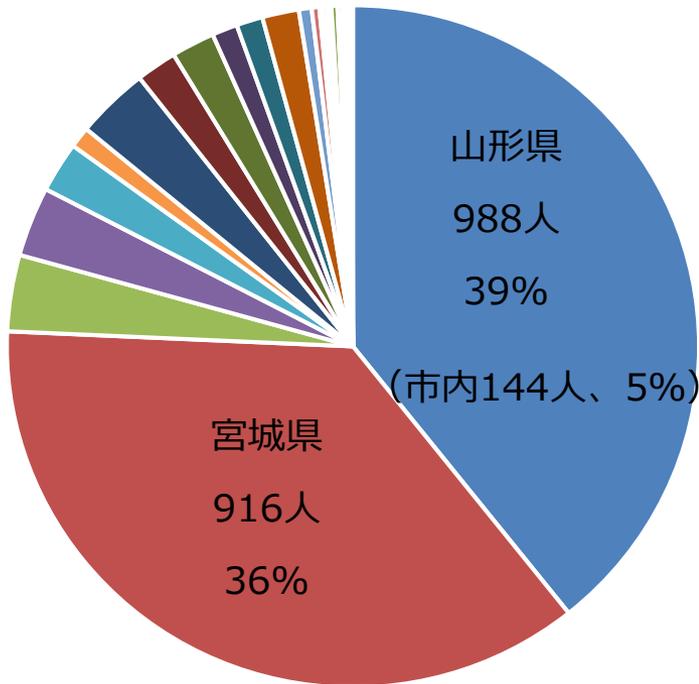
<第43回“さがえ”さくらんぼマラソン大会>

- 今年で43回目となる歴史あるマラソン大会。
- スタート、ゴール地点などのメイン会場を変更し、**市内ビュースポット**などを巡るコースにリニューアルした結果、**参加者2,819人と過去最高の規模**となった。
- イベント参加者のうち**約750人が市内宿泊**。



<さくらんぼマラソンエントリー（県別）>

県外比率：61% 市外比率：95%



福島県	91人
秋田県	86人
東京都	83人
岩手県	60人
埼玉県	51人
神奈川県	48人
茨城県	43人
栃木県	31人
千葉県	30人
新潟県	25人
群馬県	15人
外	



ストライダーエンジョイカップ



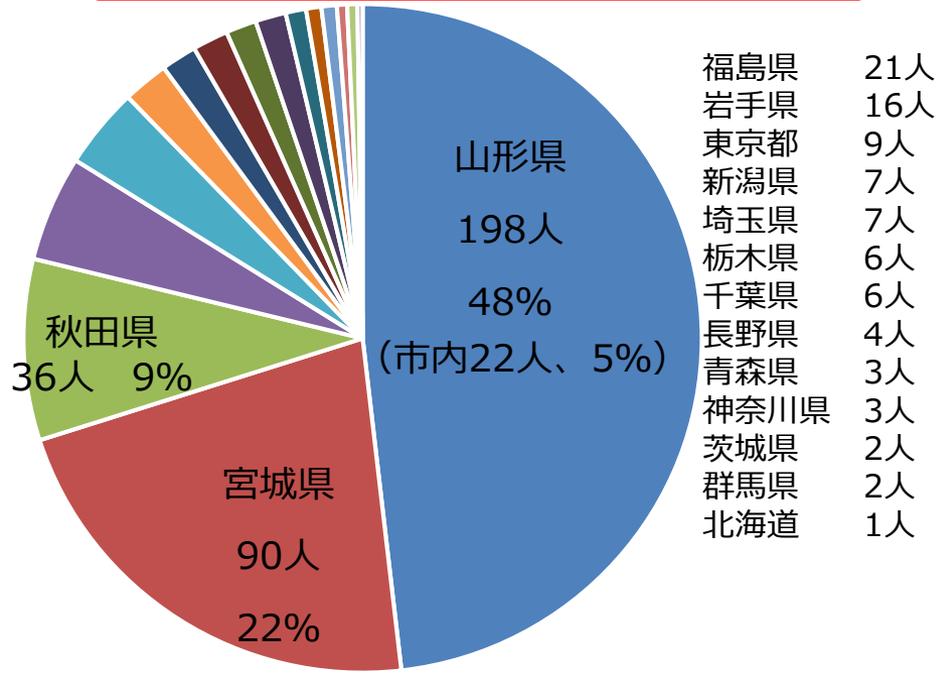
<第5回ストライダーエンジョイカップ>

- ・ **幼児向けキックバイクレースイベント**
- ・ エントリー数 411人 (**前年比26%増**) ※第4回325人
- ・ **1,500人規模のイベント** (4人家族多)
- ・ **子育て応援企業とのコラボ** (詳細別頁)
- ・ イベント参加家族のうち**66人が市内宿泊**



<第5回エントリー (子ども/県別) >

県外比率:52% 市外比率: 95%



<地元企業との連携>

<山形銀行 × 寒河江 >

- ・ 当日スタッフとしての参加
- ・ 子育て支援グッズの提供 (賞品協賛)

<ムラサキスポーツ × 寒河江 >

- ・ 当日、ムラサキスポーツブースとして、ストライダーやクランカーの体験会を実施

<子育て情報誌「mamaid」 × 寒河江 >

- ・ 子育て情報誌mamaid8月号で「ストライダー」特集
- ・ イベント当日に出展
誌面コーナー「街かどキャッチ」撮影

トライアスロン

さがえ
未来
創成



<さがえトライアスロンフェスティバル>
(令和元年5月25日-26日)

- トライアスロン = 水泳、自転車、長距離走の3種目をこの順番で行う競技で、オリンピック正式種目となっている。
- 寒河江市では平成28年からスタートしており、JTU公認大会として、ナショナルチーム選手（パラリンピック日本代表候補選手）等、155人が参戦。
- トライアスロンの大会開催で一番リスクを伴うのが「水泳」。完全管理型の水面広場を持つ「グリバーさがえ」はそのリスクを最小限に抑えることができるという特徴があり、特にパラリンピック選手の練習（合宿等）や、大会会場として期待されている。

シクロクロスUCIレース

さがえ
未来
創成

＜シクロクロス＞

(令和元年10月27日)



- シクロクロス = 未舗装の悪路(オフロード)で行われる**自転車競技**で、急坂や障害板、階段など、乗車したまま越えることが不可能な障害物を、下車して自転車を担ぐことなどが特徴。晩秋～冬季がメインシーズンとなる。

- 寒河江市では平成28年から開催しており、今大会も国内トップライダー含む142人が参加（優勝者：男子全日本選手権(U23)チャンピオン・男子世界選手権日本代表）している。

- 会場では、ご当地グルメ「肉そば」ブースも出店し、全国各地からの参加者から好評を得ている。

さがえスポーツフェスティバル2020

さがえ
未来
創成



<さがえスポーツフェスティバル> (令和2年2月1日-2日)

- 寒河江市の屋内多目的運動場「チェリーナさがえ」にて、東京2020オリンピック・パラリンピック種目の体験やニュースポーツの体験イベントを開催、約700人が参加
- 今年初開催イベント。屋内運動場という施設の特性を活かし、冬期間にはなかなかできないスポーツ体験の機会を創出することができた。

<体験種目>

- 東京オリパラ特設PRブース
- ボルダリング (☆)
- スケートボード (☆)
- ボッチャ (★)
- スラックライン
- バブルボール

☆:オリンピック種目
★:パラリンピック種目



スポーツツーリズム推進事業/KPI

さがえ
未来
創成

<KPI (Key Performance Indicator/重要業績評価指標)>

【スポーツツーリズムに関するサービス利用者】

KPI	結果	達成
11,330人	11,153人	×

【スポーツツーリズムイベント参加者数】

KPI	結果	達成
7,085人	6,660人	×

【宿泊者数 (イベント参加者中)】

KPI	結果	達成
1,335人	1,260人	×